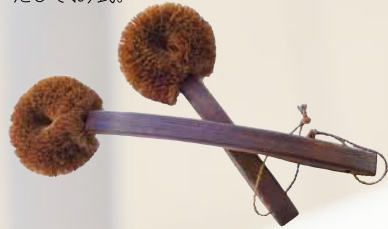


*a Story of  
working site*



最後の成形をする社長の高田英生(ただひでお)氏。



「たわしはゴシゴシ磨くもので、身体を洗うなんて考えられない」と多くの人が思うはず。紀州産棕櫚で作られた「たわし」は、まるで身体に吸い付くような優しい肌触りで野菜はもちろん身体を洗うにも大人気の商品である。紀州の重要な産物であった棕櫚は、安い輸入品の棕櫚やパームヤシなどにとって代われ需要は極端に減少。手入れされた棕櫚山が少なくなり、採取する職人も今では数えるほど。「この仕事に携わる自分たちが、地元の特産品を使わないタワシを作るなんて」と一念発起。熟練の職人が手作業で一本一本巻き上げた「たわし」は、今では生産が追いつかないほどだという。

いい具合の棕櫚の木から職人が皮を剥ぎ、川で洗ってから天日干しされたものが納品される。それを毛さばき機に掛け一本一本の繊維にする。さらに洗い、ゴミを取り、十分乾かしてから針金に挟み捻る。その後は毛先を整えて乾燥させ、製品の形に合うように成形する。繊維が非常に柔らかいので単純が故に熟練の技が必要となる。

高田耕造商店  
場所／海南市棕木97-2  
電話／073-487-1264



# 棕櫚しゅろたわし

*Awesome Products  
in Wakayama 02*